

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 門司海青 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

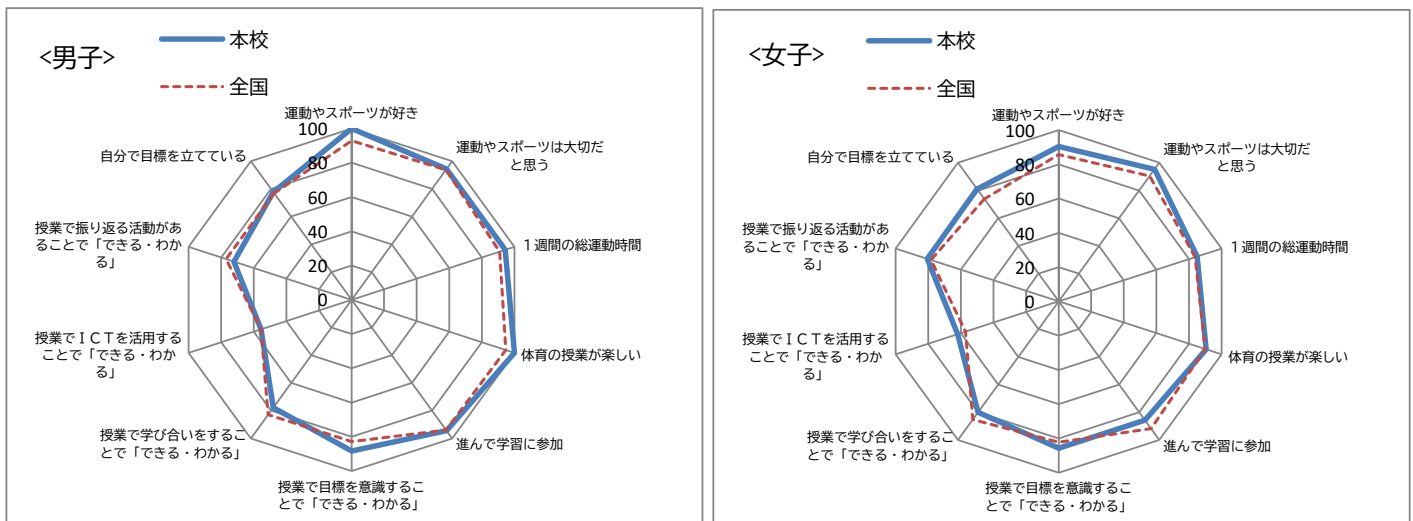
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
本校全国平均以上の種目				○	○	○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
本校全国平均以上の種目				○	○		○	○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男女ともに、運動への興味や関心、学校の体育の授業時間以外でも運動やスポーツを1週間に60分以上の割合について、全国平均を上回っている。また、授業のねらいやめあてを意識して学習することにより、できたり、わかったりすることへつながりを深めている。しかし、振り返り活動が必ずしも授業内容の定着につながっていない傾向がある。今後も継続して、自分で考えた目標の到達度について、可視化しながら振り返りを行うことで、課題の焦点化に発展するような取組を進めていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

より主体的に体を動かすことを目標に、体育の学習や運動会、縄跳び大会などの学校行事において、成果を発表できる場面を設定した。課題の克服に向けて、1単位時間内での運動量の確保を十分に行い、ICT機器を活用して、自分の体の動きを振り返られるようにすることで、体力や技量の向上を実感できるようになった。これからも、この取組を継続して、生涯スポーツの基盤となり得る、自ら挑戦しようという意欲的な態度を育てていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

体育委員会が中心となり、縄跳び大会の練習では、縄跳びの跳び方や練習方法の動画を作成したり、休み時間に縄跳びを計画的に練習したりする活動を行った。運動習慣の定着として、練習した成果を持続、発展させていくために、体育の学習では、縄跳びに定期的に取り組むとともに、休み時間にも縄跳びができるように、貸し出し用を準備している。さらに、記録用カードの工夫により、時系列で成果を確認できるようにすることで、意欲的に取り組もうとする態度の育成を図る。